

# 債券・為替 ウィークリーレポート



カナダ



ブラジル



メキシコ



オーストラリア



ニュージーランド



ノルウェー


















南アフリカ



インドネシア



インド

国（地域）	格付 （※1）	債券（※2）	為替（対円）	経済成長率	政策金利	先週の動向	今週の見通し
		7/7 (6/30との比較)	7/7 (6/30との比較)	前年比 (※3)	先週末		
		今後の見通し (※4)	今後の見通し (※5)	景気の方向性 (※6)	方向性 (※7)		
カナダ 	AAA	1.88% (+0.12)	88.49円 (+2.04%)	+2.3% 2017年1Q	0.50%	国際商品貿易は市場予想を下回る一方、雇用統計の雇用者数増加は市場予想を上回る結果。ポロズ中銀総裁はインフレ率上昇に対する金融政策の必要性に言及。国債利回りは上昇。カナダドルは対円で上昇。	利上げ観測が高まる中、中銀が政策金利を据え置く場合にはその反動が予想される。住宅着工件数などの発表が予定され、引き続き景況感の改善度合いと海外の金融政策動向を見極める状況。
	Aaa	 金利横ばい		 景気安定	 利上げ局面		
ブラジル 	BB	9.76% (▲0.10)	34.72円 (+2.22%)	-0.4% 2017年1Q	10.25%	労働改革法案の上院採決が7月11日に予定されるなど改革進展が期待されたことから、レアルは対円で上昇。インフレ率の低下などから、国債利回りは低下。	小売売上高などの発表を予定。マクロ経済の改善が継続しているかに注目。市場では同国の政治リスクへの警戒感が引き続き根強いことなどから、債券・為替市場は神経質な展開を想定。
	Ba2	 金利低下		 景気回復	 利下げ局面		
メキシコ 	A	6.69% (+0.06)	6.30円 (+1.60%)	+2.8% 2017年1Q	7.00%	6月の金融政策決定会合議事録が公表され、中銀内でインフレ見通しについての見解が分かれたことで、早期の利下げ観測が後退したことなどから、国債利回りは上昇。ペソは対円で上昇。	鉱工業生産や製造業生産などの発表を予定。前回のマイナス推移からプラスに転じるか注目。国内の金融政策の転換期やNAFTA（北米自由貿易協定）再交渉の動向などをにらみつつ、債券・為替市場は神経質な展開を予想。
	A3	 金利横ばい		 景気安定	 利下げ局面		

（出所：ブルームバーグのデータ等をもとにアセットマネジメントOne作成）

※1 格付は上段がS&P、下段がMoody'sによる自国通貨建て長期債格付を表示。

※2 国債利回りを表示（カナダ：10年、ブラジル：4年、メキシコ：5年）。債券については変化幅、為替については騰落率を表示。

※3 経済成長率については、前年同期比を表示。
















※4、5 今後の見通しについては、今後1カ月のアセットマネジメントOneの見通しを矢印で表示。為替の見通しについては、現地通貨高（円安）を上向き、現地通貨安（円高）を下向き、横ばいを横方向の矢印で表示。

※6、7 方向性については、今後1年のアセットマネジメントOneの見通しを矢印で表示。

※為替レートについてはいずれもNY終値を表示。

※政策金利については、カナダ：翌日物貸出金利、ブラジル：Selicレート、メキシコ：翌日物金利を表示。

※上記は過去のデータであり、将来の市場動向を示唆、保証するものではありません。  
※巻末のご注意事項を必ずお読み下さい。

国（地域）	格付 （※1）	債券（※2）	為替（対円）	経済成長率	政策金利	先週の動向	今週の見通し
		7/7 （6/30との比較）	7/7 （6/30との比較）	前年比 （※3）	先週末		
		今後の見通し （※4）	今後の見通し （※5）	景気の方向性 （※6）	方向性 （※7）		
オーストラリア 	AAA	2.73% （+0.13）	86.64円 （+0.25%）	+1.7% 2017年1Q	1.50%	中銀は政策金利を据え置中、経済と金利見通しについて中立な姿勢を示唆。小売売上高と貿易収支は市場予想を上回る内容。世界的な金利上昇の状況下、国債利回りは上昇。オーストラリアドルは対円で上昇。	企業景況感や企業信頼感などの発表が予定され、将来の金融政策の材料に。各国・地域の金融政策動向を受けた海外の市場に加え、中国の経済指標や資源価格動向も注目。
	Aaa	 金利横ばい		 景気安定	 据え置き局面		
ニュージーランド 	AA+	3.02% （+0.04）	82.95円 （+0.70%）	+2.5% 2017年1Q	1.75%	隔週開催の乳製品入札の落札価格は下落し、住宅価格の前年比の伸び率は鈍化。経済指標はさえない内容となるも、景気拡大局面にあるとの見方は変わらず。ニュージーランドドルは対円で上昇。国債利回りは上昇。	米国や中国、欧州などの景気に対して前向きな見方が広がる中、一次産品国である同国でも堅調な景気動向が続くことが期待される環境。住宅売上高や製造業PMI、消費者信頼感指数などが発表される予定。
	Aaa	 金利横ばい		 景気安定	 据え置き局面		
ノルウェー 	AAA	1.70% （+0.05）	13.60円 （+1.11%）	+2.6% 2017年1Q	0.50%	製造業PMIは前月から上昇し、製造業活動の拡大を示唆。一方、製造業生産指数は高い伸びを記録した前月の反動もあり小幅にマイナス。ノルウェークローネは対円で上昇。国債利回りは上昇。	経済指標は総じて景気が回復局面入りし、安定化していることを示唆。インフレ統計や貿易収支などの発表を予定。ノルウェーの金融市場は原油価格動向に左右される見込み。
	Aaa	 金利横ばい		 景気安定	 据え置き局面		

（出所：ブルームバーグのデータ等をもとにアセットマネジメントOne作成）

※1 格付は上段がS&P、下段がMoody'sによる自国通貨建て長期債格付を表示。

※2 10年国債利回りを表示。債券については変化幅、為替については騰落率を表示。

※3 経済成長率については、前年同期比を表示。
















※4、5 今後の見通しについては、今後1カ月のアセットマネジメントOneの見通しを矢印で表示。為替の見通しについては、現地通貨高（円安）を上向き、現地通貨安（円高）を下向き、横ばいを横方向の矢印で表示。

※6、7 方向性については、今後1年のアセットマネジメントOneの見通しを矢印で表示。

※為替レートについてはいずれもNY終値を表示。

※政策金利については、オーストラリア：キャッシュレート、ニュージーランド：オフィシャル・キャッシュレート、ノルウェー：デポジットレートを表示。

※上記は過去のデータであり、将来の市場動向を示唆、保証するものではありません。  
※巻末のご注意事項を必ずお読み下さい。

国（地域）	格付 （※1）	債券（※2）	為替（対円）	経済成長率	政策金利	先週の動向	今週の見通し
		7/7 (6/30との比較)	7/7 (6/30との比較)	前年比 (※3)	先週末		
		今後の見通し (※4)	今後の見通し (※5)	景気の方向性 (※6)	方向性 (※7)		
南アフリカ 	BBB-	7.91% (+0.15)	8.50円 (▲0.93%)	+1.0% 2017年1Q	7.00%	製造業PMIは50を下回る水準に低下。中銀の独立性を巡る議論の継続を受けて、ランドは対円で下落。国債利回りは上昇。	製造業生産や消費者信頼感指数などの発表を予定。中銀の独立性を巡る議論の継続や、大統領不信任投票の実施日程の延期など、政治的な不透明感の残存から債券・為替市場は不安定な展開を予想。
	Baa3	 金利上昇	 為替下落	 景気鈍化	 据え置き局面		
インドネシア 	BBB-	6.98% (+0.31)	0.85円 (+0.71%)	+5.0% 2017年1Q	4.75%	製造業PMIが前月から悪化したほか、外貨準備高は減少し、インフレ率の伸びもやや加速。外国人の証券売買フローが流出に転じたことなどをを受け、国債利回りは大幅に上昇。ルピアは対円で上昇。	消費者信頼感指数などの発表を予定。先進国の金利が上昇する中、国債利回りは上昇しやすい地合いを予想。一方、中銀はルピアの為替相場の安定性を重視する姿勢を維持する中、ルピアは底堅く推移する見込み。
	Baa3	 金利横ばい	 為替横ばい	 景気安定	 据え置き局面		
インド 	BBB-	6.66% (+0.06)	1.76円 (+1.56%)	+6.1% 2017年1Q	6.25%	製造業PMIは低下。GST（物品・サービス税）は導入後の混乱はなく、国債利回りは上昇。市場全般の円安を受けて、ルピーは対円で上昇。	インフレ統計や鉱工業生産などの発表を予定。インフレ率の鈍化傾向を受けて利回りは低下しやすい環境であるが、主要市場の利回り上昇も影響し、債券・為替市場は安定的に推移する展開を予想。
	Baa3	 金利横ばい	 為替横ばい	 景気回復	 据え置き局面		

（出所：ブルームバーグのデータ等をもとにアセットマネジメントOne作成）

※1 格付は上段がS&P、下段がMoody'sによる自国通貨建て長期債格付を表示。

※2 国債利回りを表示（南アフリカ：5年、インドネシア：5年、インド：5年）。債券については変化幅、為替については騰落率を表示。

※3 経済成長率については、前年同期比を表示。

※4、5 今後の見通しについては、今後1カ月のアセットマネジメントOneの見通しを矢印で表示。為替の見通しについては、現地通貨高（円安）を上向き、現地通貨安（円高）を下向き、横ばいを横方向の矢印で表示。

※6、7 方向性については、今後1年のアセットマネジメントOneの見通しを矢印で表示。

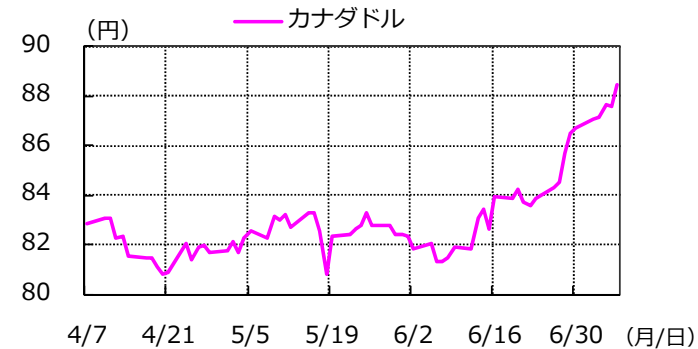
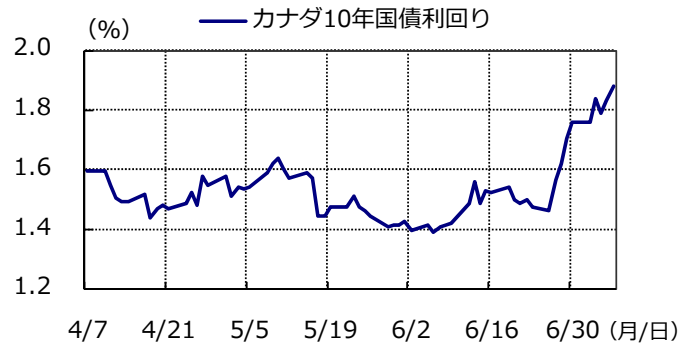
※為替レートについてはいずれもNY終値を表示。インドネシアルピアは100通貨単位あたりの値。

※政策金利については、南アフリカ：レポレート、インドネシア：7日物リバースレポ金利、インド：レポレートを表示。

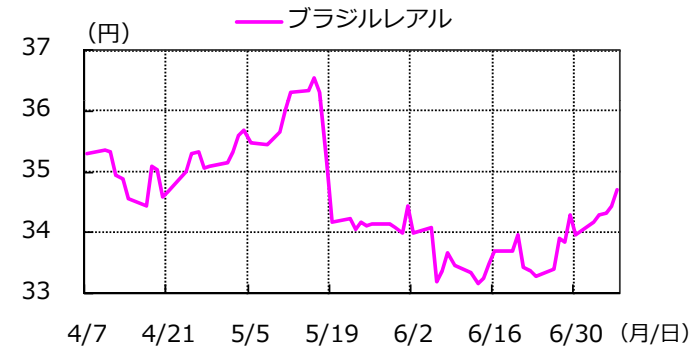
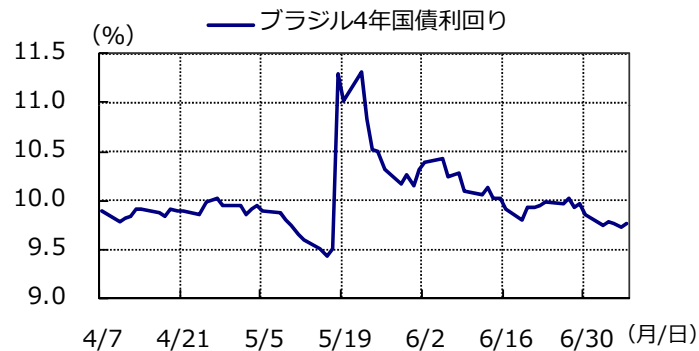
※上記は過去のデータであり、将来の市場動向を示唆、保証するものではありません。  
※巻末のご注意事項を必ずお読み下さい。

期間：2017/4/7～2017/7/7

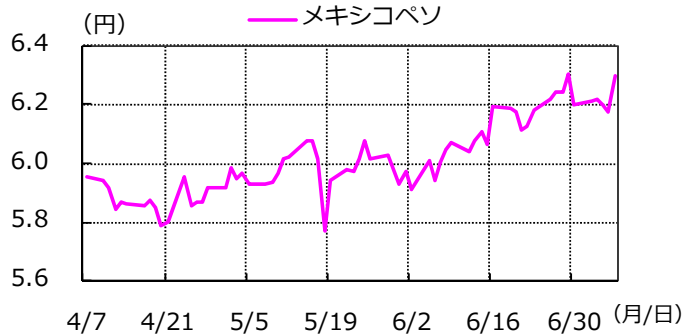
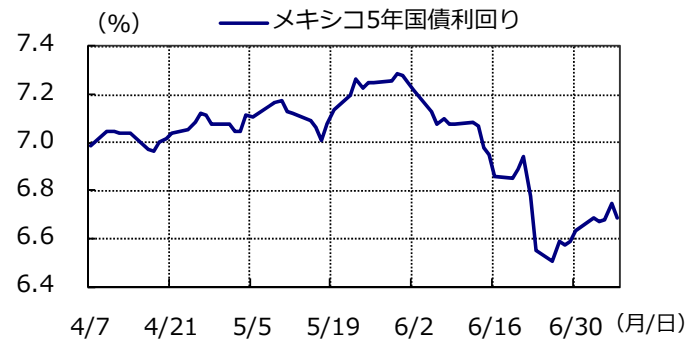
カナダ



ブラジル



メキシコ

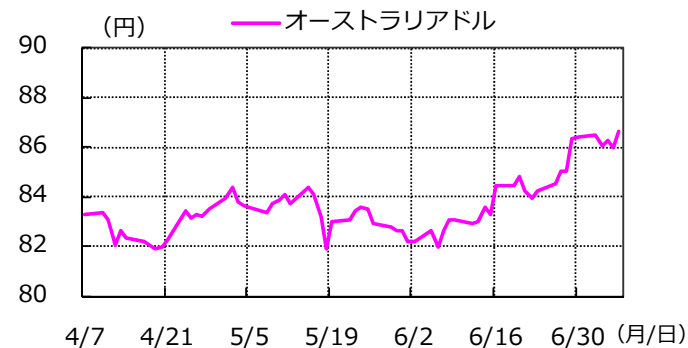
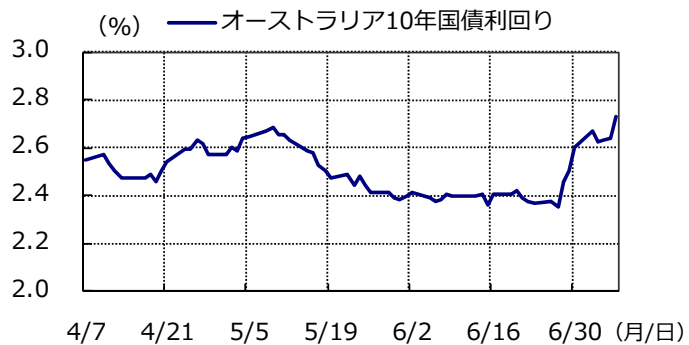


※為替レートについてはいずれもNY終値を表示。（出所：ブルームバーグのデータ等をもとにアセットマネジメントOne作成）

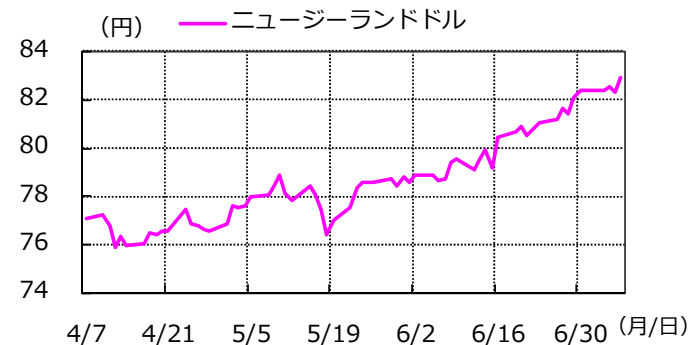
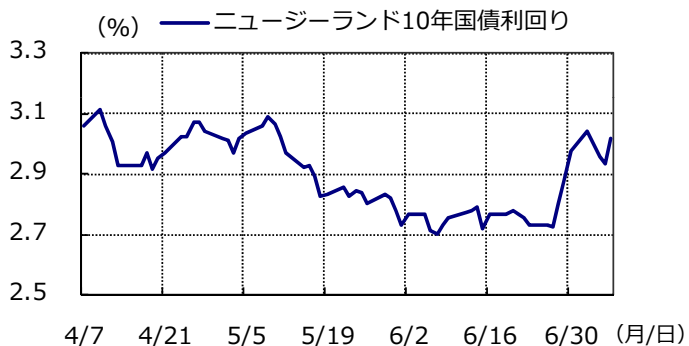
※上記は過去のデータであり、将来の市場動向を示唆、保証するものではありません。  
※巻末のご注意事項を必ずお読み下さい。

期間：2017/4/7～2017/7/7

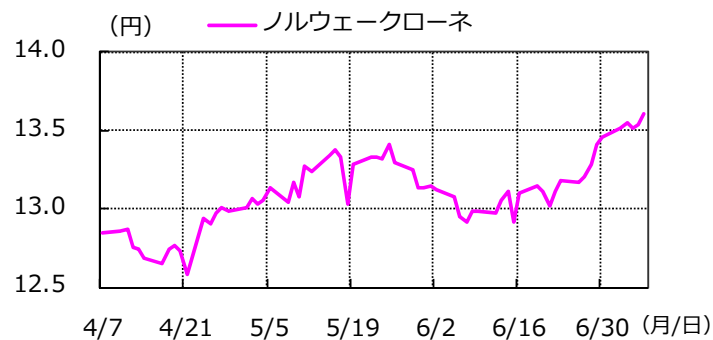
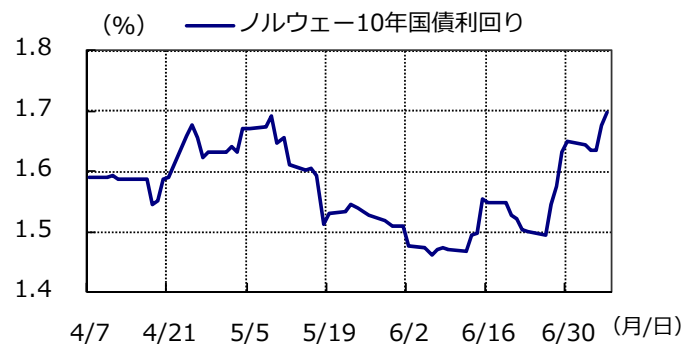
オーストラリア



ニュージーランド



ノルウェー

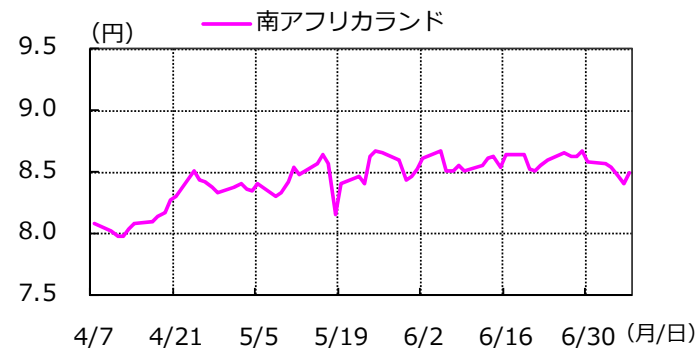
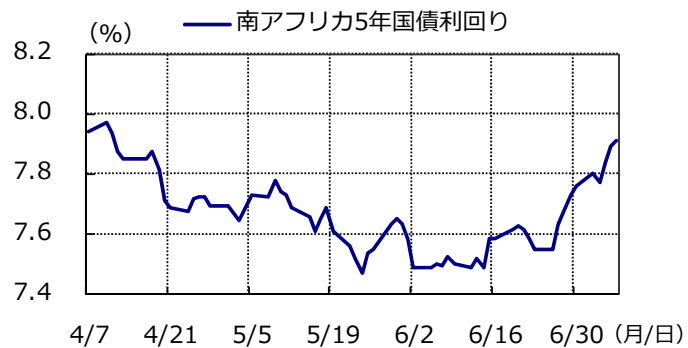


※為替レートについてはいずれもNY終値を表示。（出所：ブルームバーグのデータ等をもとにアセットマネジメントOne作成）

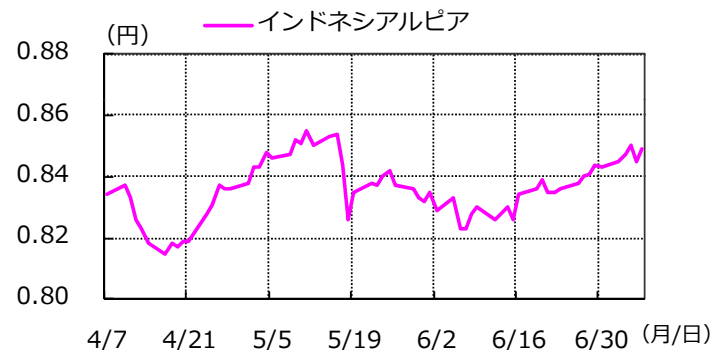
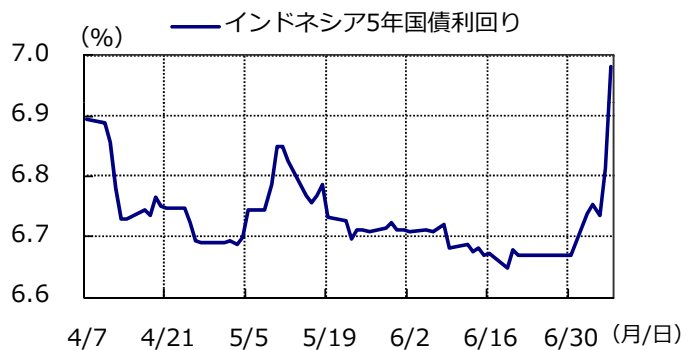
※上記は過去のデータであり、将来の市場動向を示唆、保証するものではありません。  
※巻末のご注意事項を必ずお読み下さい。

期間：2017/4/7～2017/7/7

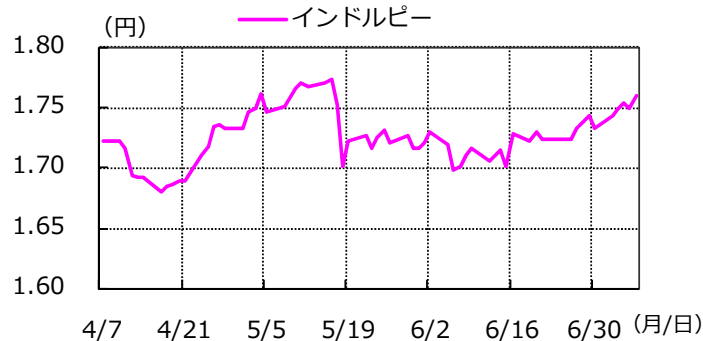
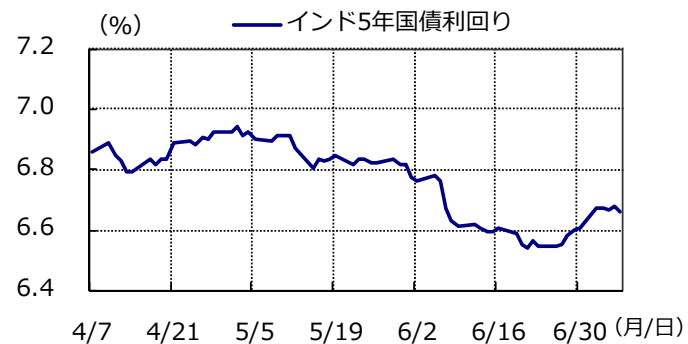
南アフリカ



インドネシア



インド



※インドネシアルピアは100通貨単位あたりの値。 ※為替レートについてはいずれもNY終値を表示。（出所：ブルームバーグのデータ等をもとにアセットマネジメントOne作成）

※上記は過去のデータであり、将来の市場動向を示唆、保証するものではありません。  
※巻末のご注意事項を必ずお読み下さい。

# 投資信託に係るリスクと費用およびご注意事項

## 【投資信託に係るリスクと費用】

### ● 投資信託に係るリスクについて

投資信託は、株式、債券および不動産投資信託証券（リート）などの値動きのある有価証券等（外貨建資産には為替リスクもあります。）に投資をしますので、市場環境、組入有価証券の発行者に係る信用状況等の変化により基準価額は変動します。このため、投資者の皆さまの投資元本は保証されているものではなく、基準価額の下落により、損失を被り、投資元本を割り込むことがあります。ファンドの運用による損益はすべて投資者の皆さまに帰属します。また、投資信託は預貯金とは異なります。

### ● 投資信託に係る費用について

【ご投資いただくお客さまには以下の費用をご負担いただきます。】

#### ■ お客さまが直接的に負担する費用

購入時手数料：上限3.78%（税込）

換金時手数料：換金の価額の水準等により変動する場合がありますため、あらかじめ上限の料率等を示すことができません。

信託財産留保額：上限0.5%

#### ■ お客さまが信託財産で間接的に負担する費用

運用管理費用（信託報酬）：上限 年率2.6824%（税込）

※上記は基本的な料率の状況を示したものであり、成功報酬制を採用するファンドについては、成功報酬額の加算によってご負担いただく費用が上記の上限を超過する場合があります。成功報酬額は基準価額の水準等により変動するため、あらかじめ上限の額等を示すことができません。

その他費用・手数料：上記以外に保有期間等に応じてご負担いただく費用があります。投資信託説明書（交付目論見書）等でご確認ください。その他費用・手数料については定期的に見直されるものや売買条件等により異なるため、あらかじめ当該費用（上限額等を含む）を表示することはできません。

※手数料等の合計額については、購入金額や保有期間等に応じて異なりますので、あらかじめ表示することはできません。

※上記に記載しているリスクや費用項目につきましては、一般的な投資信託を想定しております。費用の料率につきましては、アセットマネジメントOne株式会社が運用するすべての投資信託のうち、徴収するそれぞれの費用における最高の料率を記載しております。

※投資信託は、個別の投資信託ごとに投資対象資産の種類や投資制限、取引市場、投資対象国が異なることから、リスクの内容や性質、費用が異なります。投資信託をお申し込みの際は、販売会社から投資信託説明書（交付目論見書）をあらかじめ、または同時にお渡ししますので、必ずお受け取りになり、内容をよくお読みいただきご確認のうえ、お客さまご自身が投資に関してご判断ください。

※税法が改正された場合等には、税込手数料等が変更となることがあります。

## 【ご注意事項】

● 当資料は、アセットマネジメントOne株式会社が作成したものです。

● 当資料は、情報提供を目的とするものであり、投資家に対する投資勧誘を目的とするものではありません。

● 当資料は、アセットマネジメントOne株式会社が信頼できると判断したデータにより作成しておりますが、その内容の完全性、正確性について、同社が保証するものではありません。また掲載データは過去の実績であり、将来の運用成果を保証するものではありません。

● 当資料における内容は作成時点のものであり、今後予告なく変更される場合があります。

● 投資信託は、

1. 預金等や保険契約ではありません。また、預金保険機構および保険契約者保護機構の保護の対象ではありません。加えて、証券会社を通して購入していない場合には投資者保護基金の対象ではありません。

2. 購入金額について元本保証および利回り保証のいずれもありません。

3. 投資した資産の価値が減少して購入金額を下回る場合がありますが、これによる損失は購入者が負担することとなります。